

# コスモス

COSMOS GAKUEN



社会福祉法人  
足柄緑の会



46号

社 会 福 祉 法 人 会  
足 柄 緑 の 会

編集・発行／コスモス学園

発行日／令和5年3月31日

URL : <https://www.n-csm.jp>



## — 特集 —

- ◆ 新監事 加藤 正晃氏  
新評議員 晝場 浩司氏 のご紹介
- ◆ 株式会社ヒノデ 表彰式 / 法人職員研修
- ◆ 令和4年度下半期 各事業所のニュース
- ◆ コスモス学園 えがおのアルバム
- ◆ コスモス学園 ロケット打ち上げ体験報告
- ◆ 新利用者紹介 / 新職員の紹介  
/ あのひとこんなひと / 善意



## 新 監 事 の ご 紹 介



足柄緑の会

監 事 加藤 正晃

昨年六月に法人の監事に就任しました加藤正晃と申します。

ご当地南足柄市岩原で生まれ育ち、一昨年六月まで地元金融機関に四十二年間勤務した後、現在は関連会社である保険代理店の代表をしております。

また、長男として家業の農業を引き継いだ関係から、ここ数年、ウイークデーは会社勤務、週末は農作業という毎日です。

作物は、水稲、お茶、キウイフルーツ、みかん、レモン等果樹を中心に多種作っているため、年間を通して農閑期が無く、晴耕雨読ならぬ晴耕雨休で、多忙続きの時は恵みの雨を待ちわびています。

家庭は、妻と母の三人家族ですが、愛犬二匹が常に賑やかしてくれており、私としては五人家族と考えています。特に、一昨年十一月に母が脳出血で倒れ、左半身不随となつてからは、母の気の落ち込みを支え、何とか家で

暮らしていているのは、二匹の犬達のセラピー犬的役割によるところが大きいと感じています。

このような状況ですので、大好きな温泉巡りも当分お預けとなつており、旅番組と入浴剤で気を紛らわしています。

ところで、このたび関野理事長からのお誘いにより当法人とご縁をいただきました。私自身、これまで社会福祉法人との関りや経験はほとんど無く、お役に立てるかどうかわかりませんが、この地で生まれ、育ち、永年働かせていただいている生粋の地元人として、地元にあるコスモス学園のため、何かお手伝いできればという思いでお受けいたしました。

専門知識や技能では貢献できないでしょうが、六十年に亘る人生キャリアと地元勘等を駆使して微力ながらもコスモス学園、職員、利用者の一助となるよう努めていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

## 新 評 議 員 の ご 紹 介



足柄緑の会

評 議 員 晝場 浩司

令和三年度から社会福祉法人足柄緑の会の評議員に就任しました晝場です。

神奈川県福祉職として三十八年間、福祉の現場で支援、相談の支援にあたり、令和二年度に定年退職、現在は社会福祉法人明星会のいくつかの事業所や公益事業を担当しています。

令和三年四月に入職して六日目に入所施設で新型コロナウイルスによるクラスターが発生し、利用者の皆様のお顔を覚える間もなく、生活棟閉鎖、感染対策、応援職員の依頼、関係機関への連絡、(お会いしたことのない)ご家族の方々への電話報告などに明け暮れました。その間に自身も新型コロナと帯状疱疹にかかり、不調続きの前半でした。

そんな思いもよらぬ始まりから二年になり、ようやく市中感染が落ちつき各事業所も少しずつ日常の生活や活動に戻り始めているところです。

昨年度は、足柄緑の会の評議員会も新型コロナウイルス感染症対策の中で、会議室直行のためみなさんとお会いできないままのスタートでした。訪れた時の急坂やくねくねした道あたりは竹の子学園と似ているなど感じました。木々からこぼれる陽ざし、たくさん野鳥のさえずり、花粉のくしゃみと目のかゆみ、雪道のスリップ：なども同じでしょうか。令和五年度は、ゆつくりと足柄緑の会の活動や暮らしの場を見せていただきたいと思っております。

今の楽しみは、学習支援(担当)や放課後等デイサービスの子どもの様子をみます。にぎやかで一人ひとりの個性的な姿に元気をもらいます。新卒の赴任先が児童寮併設だったので、久しぶりの児童とのかかわりは新鮮です。子どもたちの姿にかさね「いまでできることをきちんとやる。」ことを心がけて前進したいものです。



## 施設外就労先の(株)ヒノデが神奈川県知事より表彰されました

令和4年度「発注に貢献した企業への表彰事業」で(株)ヒノデが表彰されました。この表彰は、直近の5年間で年間100万円以上の発注を2年以上継続している企業を神奈川県知事が表彰するもので、令和2年度～4年度と年間300万円以上の作業を発注し、利用者の工賃向上に貢献した功績が認められ、県知事より表彰されました。

(株)ヒノデの神戸社長が、令和元年10月にコスモス学園を訪問され、「障害のある方達への就労の場(施設外就労)を提供していきたいので協力してほしい」という話からお付き合いが始まりました。障害者が働く実態を知りたいと、当事業所にたびたび足を運んでいただき、作業適性を知るために内職作業を学園内で取り組んでいくことからスタートしていきました。

当初は納期に間に合う受注量を調整していただき、できる範囲で作業を行っていました。それでは工賃向上につながらないため、仕事の受け方や効率的な進め方など福祉施設では学ぶことのできないノウハウを指導していただき、今では短納期にも対応できる力をつけることができました。



施設外就労事業は令和2年7月から開始しました。南足柄市内に新規事業所を立ち上げていただき、利用者が働く環境として困らないよう、冷暖房の完備、専用作業スペースの増設など多くのサポートをしていただきました。

主に、クロネコヤマトのメールボックス折りの作業に取り組んでいます。1日に20,000枚の段ボール折りを行います。早い方で、5000枚/日完成してしまう方もいます。はじめは、戸惑いながら支援員が手伝わないと終わらなかった作業が、今では、利用者同士で協力し合い、出荷準備まで自分たちで行えるようになりました。企業で働く緊張感、責任感を体験することができ、言葉遣いや挨拶など、就労スキルも向上しています。

令和5年2月現在、毎日8名(中沼ジョブセンターと松田センターの共同作業)が(株)ヒノデの施設外就労作業に参加しています。ここでの経験を通じて、令和3年度1名、令和4年度1名、計2名が一般就労(障害者雇用)につながりました。

## 法人職員研修

2月に法人内職員研修を実施しました。研修場所は新型コロナウイルス感染症対策のため蜜を避け、中沼ケアセンターの1階と2階に分かれ同時開催するハイブリット形式にて実施しました。1階と2階のトークスピーカーは有線で同期してあり、どのマイクで話しても聞こえるようになっており画期的な研修になりました。

アイスブレイクを取り入れグループディスカッションを行い「怒り」についての理解を深めました。「怒り」をなくすためだけでなく、上手にコントロールするための方法として衝動、思考、行動の3つのコントロールでは対処療法から感じ方、受け取り方を変える方法、ストレスケアなどの説明があり自己認識やコミュニケーションの取り方など個人や組織として怒りに対するケアができる職場環境を意識しより良い職場、支援につなげていきます。

午前は「安全運転講習」を実施し、損害保険ジャパン株式会社の方を講師に招き、コスモス学園内で起きた過去の事故について解説、道路交通法クイズ、DVDを視聴しながら実際のドライブレコーダー映像による危険予知トレーニングをグループで討議しました。危険予知トレーニングはグループごとで活発な意見交換が見られました。「目配り」「気配り」「思いやり」が安全運転に繋がるので意識して運転業務に取り組むことが大事な事だと感じました。

後日、各自でドライバーズチェックを提出し、運転の特性を診断していただきました。

午後のアンガーマネジメント研修では株式会社ジェイアイシーのリスクマネジメント担当の方を講師に招きご講義いただきました。



# 各事業所の ニュース

## 中沼ジョブセンター

中沼ジョブセンターでは、新たに2つの企業からお仕事をいただきました。1つ目は、昨年10月より始まった、ご当地キャラクターシールの袋詰めです。依頼をいただく時には毎回2000枚〜3000枚のサンリオシールが6種類くらい届きます。ハローキティやマイメロディなど見たことのあるキャラクターが多いので、「今日は何のキャラクターを袋に入れるのかな?」と楽しみながらも作業に熱が入ります。治具を使って袋留めが曲がらないように慎重に取り組んでいます。



2つ目は、昨年12月より始まった、教材の丁合作業です。毎月、『広報みなみあしがら』の丁合をやっていることもあり、慣れた手つきでプリントを重ねていきます。作業種も増えてきましたが、みんなで協力して日々頑張っています。

行事では、学園祭でペーパーキング(細く切った画用紙を丸める)という技法を使って、「秋」をテーマにして作品作りを行いました。3か所の作業室で模造紙1枚を完成させて、最終的に4枚の模造紙を1つにして大きな作品にしました。作業室の中で、塗り絵をする人、画用紙を巻く人と役割分担して取り組みました。仲間と楽しみながら取り組み、りんごやぶどう、どんぐりなどの形を作りました。



また、クリスマス会では、1人1つクリスマスオーナメントを作りました。透明ボールの中にチャームを入れて、ビーズでかわいく飾り付けをしました。残り時間では、大きなクリスマスツリーの描かれた模造紙に、マスキングテープで飾りつけをしました。クリスマス会の写真と職員が作ったクリスマスオーナメントをツリーの飾りとして使っています。どちらの作品も廊下に飾っています。みんなの個性が光る作品で中沼ジョブセンターの廊下が華やかにまりました。



## 中沼ケアセンター

9月16日(金) 事業所毎に運動会を行いました。パン掴み競争・フォークダンス・手作りポッチャ・絵合わせ宝探しを行いました。和やかな雰囲気の中、普段とは違う集中力で取り組みました。

みんなで一緒に体を動かしたり踊る楽しさやうれしさや喜びを感じた一日でした。



10月8日(土) 学園祭を行いました。風船に色付けた紙を貼りつけ、思いの顔や装飾を施しジャック・オーランタンを作りました。中にろうそく型のライトを入れ、揺れながら浮かび上がるランタンが幻想的でとても綺麗でした。また、ガトーショコラやタルト、チーズやムース等から選んだケーキとシャインマスカットや梨等の果物を食べて、収穫・食欲の秋を満喫しました。



12月16日(金) クリスマス会を行いました。午前はカラオケのクリスマスソングに合わせてみんなで楽しく歌いながら、ハンドベル等の楽器を演奏しました。午後はクリスマス飾りを作り、松ぼっくりに毛糸やビーズでクリスマスツリーをデコレーションしました。



2月17日(金) レクリエーションを行いました。南足柄市社会福祉協議会より石焼き芋機『いもランド』をお借りし、みんなでさつまいもやじゃがいもにアルミホイルを巻いて焼き芋作りをしました。

ホクホクの甘いお芋とてもおいしかったです。



## 松田センター

松田センターでは、今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、生活介護と就労継続B型と一緒に行事を行うことはできませんでしたが、利用者のみなさんが窮屈にならないようにプログラムを工夫し活動してきました。

### ★10月8日(土)コスモス学園祭

今回は初めて科学実験的な要素を取り入れたプログラムを行いました。2部門とも巨大バルーン体験、スクイーズ作り、空気砲を行い、就労継続B型はもう1つ実験が多く、特大シャボン玉作りを行いました。

みなさん初めて見る空気砲に興味津々で、煙の輪っかが上手に出たときには満面の笑顔でした。就労継続B型の特大大シャボン玉作りも器用な利用者のみなさんは職員が驚くほどの大きなシャボン玉を作れてとても満足そうでした。



★11月 赤い羽根の募金活動  
就労継続B型で赤い羽根の募金活動を行いました。利用者自ら率先して事業所内を回り、大きな声で協力をお願いしてきていました。



### ★12月16日(金)クリスマス会

午前はスノードーム作りを行い、中のラメを選び、水の入りをに入れて、最後はリボンをつけることを利用者のみなさんに行ってもらいました。作っている最中はとても真剣な表情をしていたみなさんも、出来上がりを見てとても嬉しそうにしています。

午後はゲームやプレゼント抽選会、職員出し物の二人羽織りを行いました。二人羽織りはとても好評で、顔中真っ白になった職員を見て、みなさん笑い転げていました。最後にはもちろんサンタ登場！今年も笑顔でプレゼント受け取っていました。

### ★2月17日(金)レクリエーション

生活介護は生活介護棟を映画館に仕立て、コスモス銀行券を使って、チケット、ジュース、お菓子、パンフレットを購入して映画鑑賞を行いました。



就労継続B型では映画鑑賞、プラバン工作、ドライブをそれぞれ午前、午後に分かれて楽しく過ごしました。

## コスモスホーム

令和4年度後期イベントも新型コロナウイルス対策を徹底しつつ、バーベキュー、忘年会、節分等を行いました。

10月にはバーベキュー、12月には忘年会を行い、どちらも利用者のみなさんから希望を聞きながらメニューを作成し、職員みんなで豪華な食事作りに取りかかりました。利用者さんの喜ぶ顔を想像するといつの間にか大量に作り上げています。



クリスマス会では利用者さんが作った飾りつけを付けると華やかな部屋になり、一段と料理が美味しくなった様子で、普段よりもたくさん食べている人や、また、何日も美味しかった、美味しかった、毎日この前の食事を作ってほしいと話す人もいて、とても楽しんでもらえたようでした。



12月17日(土)に防災訓練を行いました。今回の災害設定はひだまり職員室からの出火として行いました。火事の状態を伝えると、ヘルメットをかぶり行動する方や、どうすればいいのか確認し、落ち着いて行動する方など、繰り返し行ってきた訓練が身についてきました。

新しく加わった職員に対して、名前をすぐに覚えてくれる方や、たくさん話しかけてくれる方など、みな暖かく迎えてきています。

まだまだ、新型コロナウイルスが終息した訳ではないので対策をしっかり行っています。その中でもできることを楽しみ、少しでも多くの時間をウキウキワクワクするような「家」であるようにしていきます。そのための一環ということではないですが、今後玄関に利用者さんが折り紙で作ったその月にまつわる物を飾るのでコスモスホームに寄った際にはぜひご覧になってください。

3〜4月は桜が飾ってあります。



# コスモス学園 えがおのアルバム



令和4年度も昨年に引き続きコロナ禍ではありましたが  
笑顔で楽しく過ごすことができました  
来年度もたくさんの笑顔の花が咲きますように…

# コスモス学園のロケット打ち上げ体験教室



2月14日に山北町立川村小学校6年生の卒業イベントとしてコスモス学園主催によるロケット教室を実施しました。

子ども達が自分で組み立てたロケットを実際に自分が発射ボタンを押して打ち上げます。発射直後に時速200kmで空に飛んでいく本格ロケットです。自分にはできないと思う子もいるようですが、仲間に手伝ってもらいながら組み立てて打ち上げることで「どうせ無理」とあきらめない気持ちと自信を持ってもらう教育的目的もあります。

使用したロケットは、北海道にある株式会社植松電機様(以後敬称略)のモデルロケットキット(名称 $\alpha$ -7ロケット)です。このキットに含まれるプラスチック部品以外のパラシュート、紙製部品も殆どをコスモス学園が植松電機に供給しています。従来は $\alpha$ -6ロケットが使用されていましたが、とても高く飛ぶためロケット教室は北海道限定でした。そのため本州の狭い場所で打ち上げられるように飛ぶ高さを抑えたロケットとして $\alpha$ -7ロケットが開発されました。開発にもコスモス学園が協力しています。

本州での打ち上げができるようになったことで、全国各地のボランティア団体によって盛んにロケット教室が行われるようになりました。➡

川村小学校でのロケット教室は、昨年の6年生は新型コロナウイルス感染拡大により修学旅行等の行事が軒並み中止となったため卒業前の思い出作りイベントとして一保護者として名乗りを上げたのがきっかけです。この時は植松電機の植松努社長が北海道から来られて殆ど手伝ってくれました。とても評判がよく今年の6年生も「自分たちもロケットを飛ばしたい!」と担任の先生にお願いしたことで2回目の開催となりました。コスモス学園として引き受ける初めてのロケット教室となります。

コスモス学園が開催するロケット教室としてどのような特色を出していくのか。一番はロケットの製造元のコスモス学園でその製造に携わっている利用者さんの参加です。

今回は、中沼ジョブセンターの利用者さんにロケット打ち上げ教室の説明とそこにボランティアとして手伝って欲しいとお願いしました。そして5名の利用者さんが名乗りを上げてくれました。手伝ってくれる利用者さん達には先ず自分でロケットを組み立てて打ち上げてもらいました。見慣れた部品が組み合わさってロケットとなり空に飛んでいくのを見るのは皆さん初めてでしたが、その迫力に驚きながらも自分のロケットがしっかり空に飛んだ喜びもありました。



ロケット教室当日、初めに関野理事長と池谷でコスモス学園の紹介をしました。日本で一番ロケットを飛ばしている植松電機にちなんで「日本で一番ロケットを作っている福祉施設」の説明に子ども達は驚いたようです。

ボランティア参加の利用者さんには、打ち上げ前の挨拶と打ち上げデモンストレーション、安全確認を担当してもらいました。打ち上げ前の挨拶では、大勢の6年生を前に5人全員が一人一人大きな声で挨拶と励ましの言葉をかけてくれました。

打ち上げデモンストレーションは校長先生も交えて6機のロケット一斉打ち上げです。見事に全て打ち上げが成功し6年生達は大きな歓声を上げていました。

その後は打ち上がった自分のロケットのパラシュートを追いかける子ども達に「水たまりがあるよ!」「植木があるよ!」と声を出して教えてあげていました。大勢の子ども達を前に全く物怖じせず大活躍してくれました。➡



6年生達のロケットも全て打ち上げが成功しイベント終了のときに6年生とボランティアが対面に並び6年生全員が大きな声で「ありがとうございました!」とお礼をしてくれました。どの子も笑顔で目を輝かせていたので、ロケット教室がとても良い思い出になったと改めて実感嬉しく感じました。参加した利用者さん達も同じ気持ちだったと思います。このようなイベントにコスモス学園が関わることができたことは感慨深いものがありました。

コスモス学園は、日常はボランティアで協力して下さる皆さまに支えられていますが、今回のイベントはボランティアとしてロケット教室を支える役割ができました。これまで続けてきた地域清掃作業等と並んで地域貢献の取り組みとしての可能性を感じました。

最後ではありますが、初めてのロケット教室を成功に導いてくれた保護者ボランティアの皆様、東京で数多くロケット教室を開催されているボランティア団体ドリームロケットプロジェクトの大塚代表様はじめ協力いただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。

(中沼ジョブセンター・生産事業部 池谷公治)

## 新利用者紹介



奥津 将義  
中沼ジョブセンター  
(就労支援B型)

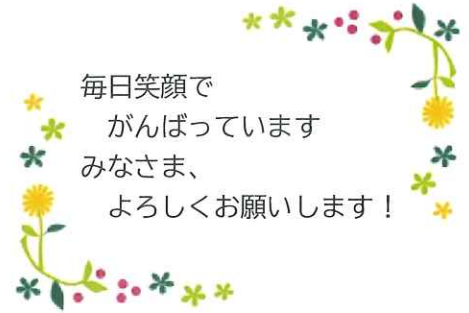


井上 健二  
中沼ジョブセンター  
(就労支援B型)

## 新職員紹介



君島 一真  
コスモスホーム



田代 誠  
中沼ジョブセンター  
(就労支援B型)

新しい仲間が  
ふえました♪  
見かけたら  
声をかけてね♪



小林 清次  
中沼ケアセンター



日比野 修  
生産事業部



中村 好志  
松田センター



趣味に仕事にがんばっている  
2人を紹介します！



秋貞 誠人  
中沼ジョブセンター  
主任支援員

平成13年9月に中沼コスモス学園に入職し早いもので22年目になります。現在は中沼ジョブセンターの主任支援員をしております。

学生時代はサッカー部に所属し、入職当時も中学時代の仲間と小田原市の社会人リーグで草サッカーに興じていました。入職した次の年には日本でワールドカップが開催され、日本代表の試合でもないのに初めての有休を使って仙台まで観戦行ったのは良い思い出です。

サッカーは相手よりも多くゴールしたら勝ちというスポーツです。私は素晴らしいゴールはもちろんですが、その過程に魅力を感じています。手は使ってはいけませんが自由度が高いこと。ゴールを目指すからと言って必ずしも前に行かなければいけない訳ではなく、状況に応じて、ドリブルしたりパスをしたり、後ろに下がったり、止まったり、時にはあきらめて他の方法をさがしたり。1人で出来そうだけどみんなと協力しなければゴールにつながらないところ。そんなところに魅力を感じます。文字にするとなんか支援みたいですね。

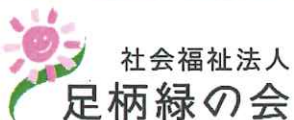


川瀬 賀寿子  
中沼ケアセンター支援員  
兼  
あすなる相談  
支援専門員

平成23年3月に入職し中沼ケアセンターにて支援員として勤務、令和4年4月より相談支援事業所あすなるの相談員を兼務しています。

色々な方にいつも元気ねと声をかけていただくことが多く、自分では普通にしているつもりなのになんでかしらと思っていました。よくよく考えてみると、毎日利用者さんの溢れんばかりの元気を頂いていて、自分でも気が付かないうちに周りの人たちに元気のお裾分けができていたのかもしれない。いつまでも皆さんの元気を全身で受け止められるように、体力を維持するため毎日トレーニングに励んでいます。

また、昨年春より相談員として色々な方にお会いする機会にも恵まれました。刺激をたくさん受ける日々、楽しくお仕事をさせて頂いています。人は何歳になっても成長することができるということを実感するとともに、この仕事に出会えたことを大変嬉しく思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



皆さまより多くのご寄附を賜りました。  
この書面をお借りしまして感謝とお礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

- 善意 (順不同・敬称略)
- 小田原北ロータリークラブ
- 富士フイルム労働組合
- イトーヨーカ堂労働組合
- コスモス後援会
- コスモス保護者会
- 森内 成典
- 林 淳
- 齋能 通
- 関野 純一